

質問 高殿議員（自民 高山市）令和8年7月3日（金）

1 隣接県との連携における「知事が交代していない県」との新たな課題への対応及び「知事が交代した県」との継続性確保と広域的な課題への対応について

答弁 知事

県政の諸課題に対応する中で、隣接する県同士の連携が重要であることは申し上げるまでもありません。まさにご指摘のとおりだと思います。現在も、広域防災、広域観光、広域道路ネットワークの整備促進など、共通の課題に対しては、関係市町村にも相談しつつ、各部局が様々な政策について日々意見交換や連携を重ねているところでございます。

とりわけ知事同士が直接意見交換する知事懇談会は、全国知事会とは異なり、隣県同士ならではの共通課題や連携もあり、かつトップ同士の緊密かつ迅速な意思決定ができ、大変重要な機会と捉えております。

私が知事に就任してからも、積極的に隣県知事との懇談会を開催してまいりました。先ほどご指摘もいただきましたけれども、改めて昨年の例を挙げますと、富山、福井、石川の各県と、広域道路ネットワークの整備促進に向け、国への共同要望を実施したところでございます。また、長野県とは、御嶽山に設置する登山者向けの標識の統一化や多言語化など安全対策の実施についての合意、そしてすでにスタートしております。滋賀県とは、ドクターヘリの相互応援体制の整備などについて連携を結んだところでございます。

今年度におきましては、現時点で今月中に富山県知事と、そして10月には石川県知事との懇談会を予定しているところでございます。

この知事同士の懇談会を行うにあたりましては、相手の知事が新任か否かに関わらず、これまで継続して連携しているテーマについて、その進捗状況を確認しつつ、その深掘りや進化を検討いたします。また、連携して対応すべきと思われる新たな政策課題が生じた場合、懇談会のテーマにするか否かを相談したうえで、対応を検討してまいります。

こうした事前準備を踏まえまして、昨年と同じ相手であります新田富山県知事との懇談会では、まず前回と同じ「道路ネットワークの整備促進」、そして「森林資源の活用」、更には「広域周遊観光の推進」、この3テーマを継続しつつ、本年3月に公表しましたバイオコークスの研究成果に関する意見交換や、特に本年8月に高山市で開催いたします「山の日記念全国大会」への協力依頼など、時節を捉えて新たな話題を盛り込む予定でございます。

一方、相手方の知事が新任の場合は、まずどのような政策を重視しているのか、そ

れが本県と連携できるものかを確認することも重要だと考えております。例えば今年3月に就任されました山野石川県知事の場合、中部圏知事会議で直接お会いしたところ、国が設置を進める防災庁の在り方、そして、金沢を例としたオーバーツーリズム対策の強化などについて問題意識をお持ちだということがわかりました。

石川県知事との懇談会テーマの本格的な整理はこれからではございますけれども、今後、これまでの連携事業の継続性を踏まえつつも、両県ならではの共通課題や新しい連携について整理し、両県にとって意義あるものにしてまいりたいと考えております。

担 当 課	総合政策課
電話番号	058-272-8087
メ ー ル	<a href="mailto:c11122@pref.gifu.lg.jp">c11122@pref.gifu.lg.jp</a>